

私たちはそれぞれ異なった環境に生まれ育ち、生活を営んでいます。そして、お互いに豊かで豊かな社会を築こうと努力しています。それにもかかわらず、同和地区に生まれ育つたという理由で、基本的人権を侵害され、就職や結婚などで差別を受けてきた人びとがいます。

これが同和問題（部落差別）で、ほかの国には存在しない、日本特有の人権問題です。人びとの意識の中につくられた歴史的・社会的な差別が、今もなお、さまざまな形で残っている重大な社会問題です。

### ●繰り返される差別

同和問題を解決するため、国や地方自治体は、さまざまな取り組みをすすめてきました。これらにより、同和問題に関する人びとの差別意識は、大きく改善されてき

ています。

しかし、現在でも、結婚や就職で不利な扱いを受けるなどの差別が起きており、また最近では、インターネット上に差別的な文章が掲載されたり、同和地区の地名やその地域に多い姓などを面白半分に掲示板に書き込む差別書き込みが行われたりしています。

### ●寝た子を起こすな

「寝た子を起こすことはない。ほおっておけば、差別は自然になくなる」同和問題を学習する中でこのような言葉をよく耳にします。

このような考え方が間違えていることは、繰り返し起こった差別事件をみれば明らかだとわかります。ほおっておけばなくなるという考え方は、同和問題は解決しません。「もう終わったことだから」、「差

別はなくなった」と解決していないのに、目をそらしてしまうことは、差別の助長につながります。

### ●解決に向けて

同和問題をはじめさまざまな人権問題がありますが、これらは差別される側の問題ではなく、差別する側の問題です。人権問題の解決に向けて必要なことは、自分が差別する人間にならないということだけでなく、日常の中で差別を許さない行動をとることです。そのため、「自分には関係ない」と避けるのではなく、きちんと向き合っていくことが大切です。人権問題を学び、正しく理解すれば、問題に直面したときに差別を許さない態度をとることができます。

この社会にいまだに根深く残されている不合理や偏見を取り除くことを、自らの課題としてとらえ

直し、私たち一人ひとりが何をすべきかを考え、行動に移していくことが大切です。差別は、すべて、人によってつくられたものです。それならば、人によってなくすことができるはずです。あらゆる差別をなくし、すべての人が幸せに暮らせる社会にしましょう。

福岡県では、7月を同和問題啓発強調月間と定め講演会を開催するなど、同和問題解決に向けた取り組みを積極的に進めています。芦屋町でも、講演会や街頭啓発などを行い、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題の解決に取り組んでいます。

同和問題の解決は、一人ひとりの不断の努力によって達成されるものです。その積み重ねによりお互いの人権が尊重される明るい社会を実現しましょう。

▽問い合わせ 教育委員会社会教育係（☎223局3546）

## 同和問題啓発強調月間の催し

### ●街頭啓発

- ▷とき 7月4日(日)・午後4時30分から
- ※雨天順延の場合あり
- ▷ところ 正門通り商店街など

### ●人権パネル展示

- ▷とき 7月1日(金)～29日(金)
- ▷ところ 役場1階ロビー

### ●芦屋町人権講演会

- ▷とき 7月7日(日)・午後7時～8時30分
- ▷ところ 町民会館大ホール
- ▷テーマ 外国人の壁

▷講師 久郷(くごう)ボンナレットさん  
カンボジア・プノンペン生まれ。ポル・ポト政権時に両親・兄弟4人を失い、1980年に難民として、留学中の姉を頼って来日。「学んで一人前になりたい」と16歳で小学校4年生に編入、働きながら夜間中学校に通い、その後日本人男性と結婚し、日本国籍を取得。



さらに、35歳で通信制高校に進学。しかし、日本での生活で繰り返し外国人差別にあい、日本社会の分厚い壁を体験します。

この体験から得た、「一人ひとりのちょっとした振る舞いで、国と国との関係も変わる。冷たくされれば誤解が誤解を生む。親切にされればやさしさの循環がはじまる」ことを各地で講演しています。

※車で来場の際は、**芦屋町役場臨時駐車場**を利用してください。

### ●福岡県人権講演会

- ▷とき 7月23日(日)・午後1時30分～3時55分
- ▷ところ クローバープラザ(春日市原町)
- ▷第1部 和太鼓演奏
- ▷第2部 「ひかり・HIKARI '16」  
・講師 福永宅司さん(子どもの学び館代表取締役)

### ●問い合わせ

- ▷教育委員会社会教育係 (☎223局3546)
- ▷障がい者・生活支援係 (☎223局3530)

# 7月は 同和問題啓発強調月間です

同和問題をひとつと、  
関係ないと考えるのは  
差別しているのと同じです